



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年4月30日

上場会社名 株式会社トレードワークス 上場取引所 東
 コード番号 3997 URL https://www.tworks.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅見 勝弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安藤 千年 TEL 03-5259-6611
 四半期報告書提出予定日 2021年5月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	474	21.8	0	—	1	—	0	—
2020年12月期第1四半期	389	9.2	△92	—	△92	—	△64	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	0.15	0.15
2020年12月期第1四半期	△19.48	—

(注) 2020年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,773	1,522	85.9
2020年12月期	1,807	1,529	84.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,522百万円 2020年12月期 1,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	18.4	230	114.4	230	113.0	160	118.2	47.41

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	3,367,200株	2020年12月期	3,362,700株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	226株	2020年12月期	226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	3,364,074株	2020年12月期1Q	3,307,956株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e tにて同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、設備投資は下げ止まりつつあるものの、企業収益は大幅な減少が続いており、依然として厳しい状況にあります。企業の業況判断が改善傾向にあるなど、景気は持ち直しの傾向が見られました。

また世界経済につきましては、持ち直し傾向にある一方で、世界規模での新型コロナウイルス感染症の再拡大や金融資本市場の変動等による影響を引き続き注視する必要があります。

当社の属する情報サービス業界におきましては、今なお一部においてIT投資の抑制や既存案件の延期が続く中、持続的な企業価値向上を図るべくDXの取組みを自主的・自発的に進めることを企業に促す等の目的で、経済産業省が2020年11月に「デジタルガバナンス・コード」を策定いたしました。それに加え、デジタル庁の発足が2021年9月に予定される等、IT投資の牽引に資する国策の進展により、市場成長の追い風となる傾向にあります。

このような環境の下、当社は顧客企業のIT人材不足や顧客企業の経営層の業務効率・生産性向上に対しての強い意欲等を背景に、各種クラウドサービスへの需要、基幹システム再構築などの設備需要は、継続するものと考えております。

また、コロナ禍におけるリモートワークを主体とした非対面・非接触の動きが常態化するなか、顧客接点の高度化や、DXを想定したシステムの再構築などの戦略的IT投資において、今後も継続するものと考えております。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高474,141千円(前年同四半期比21.8%増)、営業利益876千円(前年同四半期は営業損失92,562千円)、経常利益1,043千円(前年同四半期は経常損失92,373千円)、四半期純利益511千円(前年同四半期は四半期純損失64,435千円)となりました。

なお、当社は証券システム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、各事業区分別の状況は以下のとおりであります。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業におきましては、前期末において遅延となっておりました一部案件の売上及び前期末受注残からの確実な納入・検収により売上高は425,634千円(前年同四半期比25.7%増)となりました。

(FXシステム事業)

FXシステム事業におきましては、当事業の主力商品であります「TRADING STUDIO」につきましては、顧客ニーズに合わせた新たなソリューションサービスの取り組み及び提案活動は継続しており、受注及び売上は計画通りに推移し、売上高は37,500千円(前年同四半期比15.3%減)となりました。

(セキュリティ診断事業)

セキュリティ診断事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により遅延となっておりました既存顧客及び新規顧客からの受注により、売上高は11,007千円(前年同四半期比71.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,209,852千円となり、前事業年度末に比べ31,849千円減少いたしました。これは主に現金及び預金及び仕掛品が増加した一方、売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は563,709千円となり、前事業年度末に比べ2,576千円減少いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価による増加があった一方、ソフトウェア仮勘定から本勘定へ振替えたソフトウェアの減価償却を実施したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,773,561千円となり、前事業年度末に比べ34,425千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は176,469千円となり、前事業年度末に比べ30,261千円減少いたしました。これは主に未払法人税等及び未払消費税等が減少したことによるものであります。固定負債は74,200千円となり、前事業年度末に比べ2,392千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、250,669千円となり、前事業年度末に比べ27,868千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,522,892千円となり、前事業年度末に比べ6,556千円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は85.9%（前事業年度末は84.6%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年2月12日付「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による業績への影響については注視を続け、今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	835,997	901,818
売掛金	334,738	187,725
仕掛品	54,134	103,620
その他	16,831	16,688
流動資産合計	1,241,701	1,209,852
固定資産		
有形固定資産	92,364	94,090
無形固定資産		
ソフトウェア	230,613	248,061
ソフトウェア仮勘定	51,654	21,049
その他	153	153
無形固定資産合計	282,421	269,264
投資その他の資産		
投資有価証券	48,477	61,698
繰延税金資産	27,246	23,345
敷金及び保証金	115,775	115,310
投資その他の資産合計	191,499	200,354
固定資産合計	566,285	563,709
資産合計	1,807,987	1,773,561
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,482	106,503
未払法人税等	27,518	3,523
未払消費税等	49,739	18,258
前受金	15,671	14,241
その他	32,317	33,941
流動負債合計	206,730	176,469
固定負債		
退職給付引当金	71,807	74,200
固定負債合計	71,807	74,200
負債合計	278,537	250,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,098	307,384
資本剰余金	297,098	297,384
利益剰余金	926,359	910,058
自己株式	△438	△438
株主資本合計	1,530,117	1,514,388
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△668	8,504
評価・換算差額等合計	△668	8,504
純資産合計	1,529,449	1,522,892
負債純資産合計	1,807,987	1,773,561

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	389,196	474,141
売上原価	368,885	380,531
売上総利益	20,311	93,610
販売費及び一般管理費	112,874	92,733
営業利益又は営業損失(△)	△92,562	876
営業外収益		
受取利息	14	6
受取家賃	139	139
その他	64	20
営業外収益合計	218	166
営業外費用		
為替差損	29	—
営業外費用合計	29	—
経常利益又は経常損失(△)	△92,373	1,043
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△92,373	1,043
法人税、住民税及び事業税	134	679
法人税等調整額	△28,072	△146
法人税等合計	△27,938	532
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,435	511

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。